

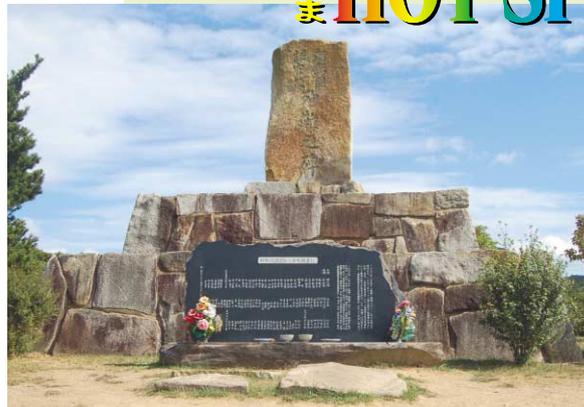


30年の歴史に幕！
対馬市立北幼稚園が閉園
園児らが別れを惜しむ

平成20年4月から厳原幼稚園への統合が決まった対馬市立北幼稚園（厳原町・末永忠治園長）で2月17日、閉園式が行われました。同幼稚園は昭和53年に開設され、今年度までの卒園者は1,585名を数えます。卒園者が最も多かったのは昭和55年度の110名。少子化等の影響もあり今年度の卒園者は16名でした。約150名が出席した式典では、対馬市長、教育長による挨拶に続き、卒園児、旧職員、保護者の代表が園での思い出深い出来事などを話した後、在籍する44名の園児全員が歌を歌い「たくさんの楽しい思い出ができました。みんなを優しく守ってくれた北幼稚園。30年間ありがとうございました」と別れの言葉を言いました。無邪気な園児たちの姿に出席者は目頭を押さえていました。その後、運動場では園児や卒園者らで「北」の人文字を作り、思い出などを書いた紙を結んだ風船を大空へ放ち、最後の別れを惜しみました。

隠れた対馬の名所を巡る

対馬 HOT SPOT



朝鮮国訳官使殉難之碑
（上対馬町鱈浦）

の対馬藩士4名を乗せた船が、鱈浦入港を目前に遭難し、乗組員全員が死亡する事故がありました。このことを悼み、平成3年3月20日（旧暦2月5日）に、事故現場となった海を見渡す事ができる丘に「朝鮮国訳官使殉難之碑」が建立されました。



朝鮮国訳官使やっかんしをご存じでしょうか。「訳官使」とは、江戸まで行く「通信使」とは違い、対馬藩の慶弔や、日朝外交上の実務交渉に對馬まで来た使節のことです。日本語通訳官を正使としたことから「訳官使」と言われたようです。来日回数も通信使の12回に対し、訳官使は50回以上を数えます。そんな訳官使の来日の中で悲しい出来事も起こっています。元禄16年（1703）2月5日（旧暦、朝鮮国訳官使一行108名と案内

【お知らせ】
観光交流課では、みなさんからの情報をお待ちしております。こんなところがあるよ、などの情報がありましたら、ドシンドシお寄せください。

対馬市役所観光交流課
0920（53）6111
FAX 0920（53）6122
メールアドレス tsushima.jp
asightseeing@city